

質問日	平成30年 6月13日(水)			質問方式	一括方式		
質問順位	6	会派名	自由民主党浜松	議席番号	46	氏名	柳川 樹一郎
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 健康寿命の延伸について	<p>近年は、寿命の質が重視され、健康な状態で生活できる生存期間である「健康寿命」の延伸、平均寿命と健康寿命の年数差の縮小に関心が高まっている。</p> <p>平成26年に厚生労働省研究による健康寿命の結果が発表されたが、本市は男性が72.98歳、女性が75.94歳で、全国20大都市で男女とも第1位という喜ばしい結果であった。しかし、平均寿命と健康寿命の差は、男性は8.29歳、女性は10.74歳であり、今後はこの差を縮めていくことが重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 本市では、平成27年度から健康づくりや介護予防を推進するためロコモーショントレーニングを展開しているが、参加者などの実績と効果について伺う。</p> <p>(2) 高齢者にとっては、健康づくりや生きがいづくりが重要なことから、そのための新たな施策展開を伺う。また、本市の農業は盛んであるが収穫時など繁忙期には労働力が不足していると聞く。この労働力の不足を補うものとして高齢者の力を活用することができれば健康寿命の延伸とともに効果がみられると思うが、考えを伺う。</p>						朝月健康福祉部長
2 全国健康福祉祭(ねんりんピック)について	<p>全国健康福祉祭「ねんりんピック」は、60歳以上の高齢者を中心に、スポーツと文化種目などによって交流を深めるとともに、健康の保持・増進や社会参加などを目的として毎年開催されている。</p> <p>本市においても、大会の機運を高めるため、会の趣旨を理解してもらい、予選会から多くの選手に参加してもらうことが必要と考える。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 昨年度開催された「あきた大会」ではスポーツが22種目、文化交流が4種目行われたが、本市の参加状況と、大会の目標や選手の活躍について伺う。</p> <p>(2) 本年度の「とやま大会」への派遣に当たり、本市内での予選会の開催や各競技団体への参加の呼びかけPRが必要と考えるが、どのような取り組みをしたのか伺う。</p>						朝月健康福祉部長
3 浜松城の歴史的 位置付けについて	<p>浜松城は徳川家康公が足かけ17年間居城し、現在でも中心市街地のランドマークとして市民から親しまれている。</p> <p>近年、天守門や土堀の一部が再建され、発掘調査では、家康公在城期の壕跡や天守曲輪の内側石垣などが発見</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>されるなど、多くの市民の注目を集めている。</p> <p>また、昨年度末の二俣城跡、鳥羽山城跡の国史跡指定などにより、市内各地の城跡の活用に期待が高まってきていると考える。</p> <p>そこで、以下5点について伺う。</p> <p>(1) 本市には多くの山城が存在している。山城の数はいくつ確認できているか伺う。また、二俣城、鳥羽山城の今後の保存活用計画について伺う。</p> <p>(2) 発掘調査で発見された天守曲輪の内側の石垣から、どのようなことが分かるか伺う。</p> <p>(3) 今後、浜松城をどのように発掘調査するのか。また、二の丸跡発掘調査など、今後どのように城の全体像を明らかにしていくのかあわせて伺う。</p> <p>(4) 浜松城を始め、市内の豊富な城跡について、改めて将来の活用計画を考える時期に来ていると思うがいかがか伺う。</p> <p>(5) 曲輪、石垣、富士見櫓を始めとするその他の櫓や天守閣の再建の意向を伺う。</p>	<p>寺田文化振興 担当部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>伊藤花みどり 担当部長</p>
<p>4 本市が輩出した偉人の功績を広く知らしめるための方策について</p>	<p>本市は産業面では高柳健次郎、山葉寅楠、本田宗一郎等、また文化面では映画監督の木下恵介氏、国学者の賀茂真淵等、世界に名だたる産業や文化、偉人を輩出している。その功績をたたえ、広く世間に知らしめ、さらには観光誘客に生かしていく事が重要と考える。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 本市が輩出した数多くの偉人たちとの関わりはどのようなものか伺う。</p> <p>(2) 産業の街として、偉人の業績をたたえ、広く世界に知らしめるための方策を伺う。</p> <p>(3) 産業観光に結びつけることはできないか伺う。</p>	<p>渡瀬産業部長</p>
<p>5 本市における農業と水産業の歴史について</p>	<p>本市は馬鈴薯やセルリー、エシャレットなど170品目を超える農産物に恵まれ、農業産出額も全国で上位を占めている。また、浜名湖周辺は、うなぎやすっぽんの養殖発祥の地であり、全国で高い知名度を誇っている。</p> <p>これらが現在の地位を築いたのは、やらまいか精神に支えられた先人たちの絶え間ない努力によるものである。将来にわたって本市の農業、水産業が発展していくためには、これまでの歴史を振り返り、その取り組みを継承していくことが重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 本市の水産業における、うなぎ、すっぽん、海苔など、養殖を産業にした歴史を後世に残すための方策について伺う。</p> <p>(2) 本市の農業における、先人たちが促成栽培をいち早く行い、確立した栽培方法や栽培技術などの歴史を後世に</p>	<p>山下農林水産 担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>6 中山間地の生活について</p>	<p>残すための方策を伺う。</p> <p>天竜区の生活環境は千変万化、さまざまな事態が住民生活に影響を及ぼしている。今年3月、天竜区龍山町瀬尻の国道152号で土砂災害が発生し、地域住民の生活に大きな支障を来している。また、住民の飲料水を表流水や湧き水を利用した水道施設に頼っている現状では、「命の水」として緊急時の水の確保も重要な課題である。</p> <p>天竜区の少子高齢化に伴う過疎化は、地域の活力を低下させ、担い手不足により伝統文化の継承なども困難となっている。こうしたことから、地域で知恵を出し合い、年をとっても生活していくための地域活性化策を考えることが重要と考える。</p> <p>さらに、ガソリンスタンドの閉鎖が相次いでいることも、自家用車に頼らざるを得ない山間部では深刻な問題になっている。</p> <p>そこで、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 土砂災害について、天竜区としての対応を伺う。</p> <p>(2) 命の源である水の確保と飲料水供給施設などの維持管理の状況について、天竜区としてどのように受け止め、対応を考えているか伺う。</p> <p>(3) 天竜区における伝統文化継承の動きと中山間地域の一村（地域）一品など活性化事業への考えを伺う。</p> <p>(4) ガソリンスタンドの閉鎖が相次いでいるが、高齢化が進む中、その実態と対策を伺う。</p>	<p>岡部天竜区長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>山下市民部長</p>
<p>7 豪雨による内水面の排水対策について</p>	<p>近年は想像を超える豪雨が毎年発生している。昨年、高塚川において、浚渫と草の除去を実施した結果、田尻排水機場には異常が見られなかった。しかし、馬込川左岸と芳川右岸に囲まれた白脇地区では、中田島町と白羽町において道路が冠水した。このことから、馬込川の樋門や排水溝並びに排水機場の機能が大変重要と考える。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 白脇地区にある排水機場や排水路の現状について伺う。</p> <p>(2) 白脇地区において、湛水防除に備えた排水機場の維持管理と運転状況はどのようになっているか伺う。</p> <p>(3) 河川が増水すると排水路へ逆流して冠水が発生するが、樋門等を閉めて可搬ポンプによって排水ができないか伺う。</p>	<p>山下農林水産担当部長</p>
<p>8 交通事故ワースト1脱出について</p>	<p>本市は市域が全国第2位の1558km²を有し、道路延長は8500km。自動車保有台数は全国の中でも極めて多い68万台となっている。自動車利用が増え、公共交通が衰退する中、J R東海道線の舞阪駅、高塚駅、天竜川駅の整</p>	<p>柴山土木部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>備に伴う運用効果が期待される。</p> <p>そこで、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 交通事故連続ワースト1について、市の所見を伺う。</p> <p>(2) 高齢者の事故対策として免許証返納が上げられるが、その状況はどうか伺う。</p> <p>(3) 幹線道路及び生活道路整備の遅れが朝夕の事故につながっていると考えるが、市の所見を伺う。</p> <p>(4) 路面標示や一方通行、さらに右折禁止など、規制による事故防止策を講じることが必要と考えるがいかがか伺う。</p>	